

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0073

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	11:00		承認	審査	作成
	作業件名	北側エリア仮設高圧変圧器盤除却工事							
	発生場所	1F構内						2019/11/27	2019/11/27
	作業主管G	所内電源グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2019/11/26	測定者			測定器名	電離箱式サーベーター	管理番号	F1-ICWBL-61
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	変圧器盤(ベース架台付2面)	B	03	D	A	15 m ²	7 μSv/h	10 μSv/h
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0124
				2019/11/27
調整後保管日時		2019年12月24日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1		変圧器盤(ベース架台付2面) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/12/24 10:30	10 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ欄	
-----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				01	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態	D:乾燥 W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0010

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0149
				2019/11/28
調整後保管日時		2019年12月24日		11:00
【保管時の指示事項等】				

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	5/6号機取水口前堆砂対策工事								
	発生場所	1F 北防波堤 (GH-14 北西)					2019/11/27	2019/11/27	2019/11/27	
	作業主管G	港湾土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/11/27	測定者		測定器名	TCS-172	管理番号	SC-078		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	フェンス、金属ガラ	B	01	D	A	0.3 m ²	0.5 μSv/h	0.5 μSv/h	無
	2	支柱	B	10	D	A	0.1 m ²	0.5 μSv/h	0.5 μSv/h	無
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

線量測定内容			
測定日	2019年12月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-376
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フェンス、金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/24 11:30	2 m ²			1
	2	1	支柱①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/24 11:30	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	状 態	履歴				
				A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0052

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F HTI建屋滞留残水排水設備設置								
	発生場所	2号機 Rw/B						2019/11/28 2019/11/28 2019/11/28		
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/11/26	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-24		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ³	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h
2	金属ガラ	B	01	D	A	1 m ³	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
×	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 固体廃棄物管理G殴打合せ済 P2保管									

受 付 番 号			
廃2019	—	12	— 0178
			2019/11/28
調整後保管日時		2019年12月25日 10:30	
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2019年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアP2	2019/12/25 10:30	4 m ³			1
	2	1	金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアP2	2019/12/25 10:30	0.5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
×	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
モ	上記物品はシート養生にて保管。											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月23日		(月)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	建築水対策工事								
	発生場所	1・4号機出入管理所建屋(GI-22)						2019/12/3	2019/12/3	2019/12/3
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/12/2	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-282		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	不燃・金属ガラ	B	01	D	A	10 m ²	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	12	—	0211
				2019/12/3
調整後保管日時		2019年12月23日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/12/23 8:45	5 m ²			1
	1	2	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/12/23 9:10	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0008

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年12月23日		(月)	9:30	承認	審査	作成
	作業件名	建築水対策工事						
	発生場所	1・4号機出入管理所建屋(GI-22)					2019/12/3	2019/12/3
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員		TEL	
	元請会社				担当者		TEL	
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/12/2	測定者		測定器名	ICW		管理番号
								Fi-ICW-282
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率
	1	不燃・金属ガラ	B	01	D	A	10 m ²	0.05 mSv/h
メ モ	2					m ²		
	3					m ²		
	4					m ²		
	5					m ²		
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0212
				2019/12/3
調整後保管日時		2019年12月23日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-376
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/23 9:20	4 m ²			1
1	2	2	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/23 9:45	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。、再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木	02 伐採木(幹・根)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013213 - 0008

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	12	—	0213
				2019/12/3
調整後保管日時		2019年12月23日		10:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月23日		(月)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	建築水対策工事								
	発生場所	1・4号出入管理所建屋(GI-22)					2019/12/3	2019/12/3	2019/12/3	
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/12/2	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-282		
	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β ・ γ 線量率	
	1	不燃・コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m ³	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

線量測定内容				
測定日	2019年12月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/12/23 10:35	5 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/12/23 10:50	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β ・ γ 線量率欄に「 β ・ γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β ・ γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0008

作業主管理	保管希望日時	2019年12月23日		(月)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	建築水対策工事								
	発生場所	1・4号機出入管理所建屋(GI-22)					2019/12/3	2019/12/3	2019/12/3	
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
線量測定年月日	2019/12/2	測定者		測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-282		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β ・ γ 線量率	
記入欄	1	不燃・金属ガラ	B	01	D	A	10 m ³	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
	5						m ³			
メモ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0214
				2019/12/3
調整後保管日時		2019年12月23日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/23 10:00	4 m ³			1
	1	2	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/23 10:20	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β ・ γ 線量率欄に「 β ・ γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β ・ γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013211 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月23日		(月)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	2号機周辺建屋屋根面雨水対策									
	発生場所	2号機T/B下屋上					2019/12/5	2019/12/5	2019/12/5		
	作業主管G	2号機建築グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/12/2	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-82		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β ・ γ 線量率		
	1	金属ガレキ(2019ZK-02674)	B	01	D	A	6 m ²	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	β 有	0.08 mSv/h
	2	金属ガレキ(2019ZK-02665)	B	01	D	A	6 m ²	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	β 有	0.08 mSv/h
	3	金属ガレキ(2019ZK-02662)	B	01	D	A	6 m ²	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	β 有	0.08 mSv/h
	4	金属ガレキ(2019ZK-02677)	B	01	D	A	6 m ²	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	β 有	0.08 mSv/h
	5						m ²				
	※保管物品はいずれも66コンテナに収納。()内はコンテナ番号。。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0226
				2019/12/6
調整後保管日時		2019年12月23日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02674)	25 μ Sv/h	50 μ Sv/h	50 μ Sv/h	エリアW2	2019/12/23 11:00	6 m ³		ZK-02674	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02665)	25 μ Sv/h	180 μ Sv/h	180 μ Sv/h	エリアW2	2019/12/23 11:00	6 m ³		ZK-02665	1
	3	1	6m3コンテナ(ZK-02662)	25 μ Sv/h	30 μ Sv/h	30 μ Sv/h	エリアW2	2019/12/23 11:00	6 m ³		ZK-02662	1
	4	1	6m3コンテナ(ZK-02677)	25 μ Sv/h	50 μ Sv/h	50 μ Sv/h	エリアW2	2019/12/23 11:00	6 m ³		ZK-02677	1
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木	02 伐採木(幹・根)	03 —	04 —	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β ・ γ 線量率欄に「 β ・ γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β ・ γ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013211 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	2号機周辺建屋屋根面雨水対策									
	発生場所	2号機T/B下屋屋上						2019/12/5	2019/12/5		
	作業主管G	2号機建築グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/12/2	測定者		測定器名		ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-82		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	① ② ③										
	1	金属ガレキ(2019ZK-02687)	B	01	D	A	6 m ²	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	β有	0.08 mSv/h
	2	金属ガレキ(2019ZK-02632)	B	01	D	A	6 m ²	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	β有	0.08 mSv/h
3	金属ガレキ(2019ZK-02892)	B	01	D	A	6 m ²	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	β有	0.08 mSv/h	
4	金属ガレキ(2019ZK-02894)	B	01	D	A	6 m ²	0.02 mSv/h	0.08 mSv/h	β有	0.08 mSv/h	
5						m ²					
※保管物品はいずれも66コンテナに収納。()内はコンテナ番号。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0227
				2019/12/6
調整後保管日時		2019年12月25日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02687)	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	エリアW2	2019/12/25 11:00	6 m ³		ZK-02687	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02632)	25 μSv/h	150 μSv/h	150 μSv/h	エリアW2	2019/12/25 11:00	6 m ³		ZK-02632	1
	3	1	6m3コンテナ(ZK-02892)	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	エリアW2	2019/12/25 11:00	6 m ³		ZK-02892	1
	4	1	6m3コンテナ(ZK-02894)	25 μSv/h	70 μSv/h	70 μSv/h	エリアW2	2019/12/25 11:00	6 m ³		ZK-02894	1
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013211 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月26日		(木)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	2号機周辺建屋屋根雨水対策								
	発生場所	2号機T/B下屋屋上						2019/12/3	2019/12/3	
	作業主管G	2号機建築グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/12/2	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-82	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
1	金属ガレキ(2019ZK-02690)	B	01	D	A	6 m ²	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	β 有	0.08 mSv/h
2	金属ガレキ(2019ZK-02659)	B	01	D	A	6 m ²	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	β 有	0.08 mSv/h
3	ケーブル類(2019ZK-02692)	B	08	D	A	6 m ²	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	β 有	0.08 mSv/h
4	ケーブル類(2019ZK-02689)	B	08	D	A	6 m ²	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	β 有	0.08 mSv/h
5						m ²				
※保管物品はいずれも66コンテナに収納。()内はコンテナ番号。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0228
				2019/12/3
調整後保管日時		2019年12月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02690)	25 μSv/h	200 μSv/h	200 μSv/h	エリアW2	2019/12/26 11:20	6 m ³		ZK-02690	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02659)	25 μSv/h	40 μSv/h	40 μSv/h	エリアW2	2019/12/26 11:20	6 m ³		ZK-02659	1
	3	1	6m3コンテナ(ZK-02692)	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	エリアW2	2019/12/26 11:20	6 m ³		ZK-02692	1
	4	1	6m3コンテナ(ZK-02689)	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	エリアW2	2019/12/26 11:20	6 m ³		ZK-02689	1
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0004

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月23日		(月)	8:30	承認	審査	作成	
	作業件名	構内道路清掃業務委託(2019年度)							
	発生場所	A系排水路(GM18,GN18,GO18)					2019/12/3	2019/12/3	2019/12/3
	作業主管G	土木保全・総括グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/11/8	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-120	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	不燃物 土砂類	B	04	W	A	5 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h
2						m ³			
3						m ³			
4						m ³			
5						m ³			
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0231
				2019/12/3
調整後保管日時		2019年12月23日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-376
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類 ⑩	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h		エリアC	2019/12/23 8:00	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0232
				2019/12/3
調整後保管日時		2019年12月23日		9:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月23日		(月)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F使用済保護衣等分別・減容・保管業務委託								
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫					2019/12/3	2019/12/3	2019/12/3	
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/11/25	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-154		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	金属がら(不良コンテナ)	B	01	D	B	12 m ³	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
注: α 有、 $\beta \cdot \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

線量測定内容			
測定日	2019年12月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-376
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属がら(不良コンテナ) ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/23 9:40	12 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0026

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月23日	(月)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	残Co処理エリア			2019/12/3	2019/12/3	2019/12/3		
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL			
	元請会社			担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/12/2	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号		
							T-ICWBL-04		
メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	コンクリートガラ	B 02	D B	5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2				m ³				
	3				m ³				
	4				m ³				
10tダンプ(5m3) × 2台 = 10m3 コンクリートガラ搬出いたします。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0237
				2019/12/4
調整後保管日時		2019年12月23日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/12/23 8:10	2 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/12/23 8:25	2 m ³			1
	1	3	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/12/23 8:40	2 m ³			1
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0026

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月23日		(月)	9:00		承認	審査	作成
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	残Co処理エリア							2019/12/3 2019/12/3 2019/12/3
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2019/12/2	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
2						m ³			
3						m ³			
4						m ³			
5						m ³			
メモ	10tダンブ(5m3)×2台=10m3 コンクリートガラ搬出いたします。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0238
				2019/12/4
調整後保管日時		2019年12月23日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/12/23 9:00	2 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/12/23 9:10	2 m ³			1
	1	3	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/12/23 9:25	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 - 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0014

作業 主 管 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	8:00	承認	審査	作成	
	作業件名	構内排水路(B系)拡張工事							
	発生場所	A系排水路(GM18,GN18,GO18)					2019/12/3	2019/12/3	2019/12/3
	作業主管G	土木保全・総括グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/11/26	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-120	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β - α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	不燃物 土砂類	B	04	W	A	5 m ³	0.001 mSv/h	0.06 mSv/h
2						m ³			
3						m ³			
4						m ³			
5						m ³			
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0241
				2019/12/4
調整後保管日時		2019年12月24日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類 ⑩	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h		エリアC	2019/12/24 8:00	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015502 - 0018

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月23日		(月)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	燃料設備点検手入工事(H31)								
	発生場所	共用プール建屋内						2019/12/4	2019/12/4	2019/12/4
	作業主管G	廃棄物設備グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/11/26	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-127		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	フランジ		B	10	D	B	1 m ²	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無
2	ホース		C	03	D	B	3 m ²	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無
3							m ²			
4							m ²			
5							m ²			
注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0244
				2019/12/4
調整後保管日時		2019年12月23日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-126
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	2	1	ホース(→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/23 10:00	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木	02 伐採木(幹・根)	03 —	04 —	05	—
				01 伐採木	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
			B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
		06			保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
		11			フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄に「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012915 - 0026		固体廃棄物管理G記入欄		受付																																																																																																					
作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時		2019年12月26日		(木)		11:00		承認		審査		作成		受付番号																																																																																																				
	作業件名		1F-1~4号機 KURION他計装品点検修理工事(H31)																																																																																																																
	発生場所		ヤードタンクエリア								2019/12/4		2019/12/4		2019/12/3																																																																																																				
	作業主管G		水処理・滞留水計装グループ								監理員		TEL																																																																																																						
	元請会社										担当者		TEL																																																																																																						
	線量測定年月日		2019/10/7		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		F1-ICWBL-130																																																																																																				
	No.		※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率																																																																																																				
	1		ホース類				5 m		5 μSv/h		5 μSv/h		無																																																																																																						
	2						m																																																																																																												
	3						m																																																																																																												
4						m																																																																																																													
5						m																																																																																																													
<div>線量測定内容</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">2019年12月26日</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td>F1-ICWBL-126</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																2019年12月26日				測定日	氏名	測定器	管理番号	1		ICWBL	F1-ICWBL-126	2				3				4																																																																															
2019年12月26日																																																																																																																			
測定日	氏名	測定器	管理番号																																																																																																																
1		ICWBL	F1-ICWBL-126																																																																																																																
2																																																																																																																			
3																																																																																																																			
4																																																																																																																			
保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.																																																																																																							
	1	1	ホース類(→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/26 11:00	5 m			1																																																																																																							
									m																																																																																																										
									m																																																																																																										
									m																																																																																																										
									m																																																																																																										
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																			
<div>※カテゴリ</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">A 可燃物</th> <th colspan="2">B 不燃物</th> <th colspan="2">C 難燃物</th> <th colspan="2">D 伐採木</th> <th colspan="2">② 状態</th> <th colspan="2">③ 履歴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>紙・ウエス類</td> <td>02</td> <td>プラスチック・ポリ・ビニール類</td> <td>03</td> <td>木材類</td> <td>04</td> <td>可燃物その他</td> <td>05</td> <td>—</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>—</td> <td>07</td> <td>—</td> <td>08</td> <td>—</td> <td>09</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>—</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>01</td> <td>金属ガラ</td> <td>02</td> <td>コンクリートガラ</td> <td>03</td> <td>機器類・制御盤類</td> <td>04</td> <td>土砂類</td> <td>05</td> <td>塩化ビニール類</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>保温材</td> <td>07</td> <td>石綿含有物</td> <td>08</td> <td>ケーブル類</td> <td>09</td> <td>アスファルトガラ</td> <td>10</td> <td>不燃物その他</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>フランジタンク本体</td> <td>12</td> <td>フランジタンク付属品</td> <td>13</td> <td>石綿含有物(はつり屑等)</td> <td>14</td> <td>—</td> <td>15</td> <td>—</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>01</td> <td>ゴム類</td> <td>02</td> <td>難燃シート類</td> <td>03</td> <td>ホース類</td> <td>04</td> <td>難燃物その他</td> <td>05</td> <td>—</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>01</td> <td>伐採木(幹・根)</td> <td>02</td> <td>伐採木(枝・葉)</td> <td>03</td> <td>—</td> <td>04</td> <td>—</td> <td>05</td> <td>—</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>													A 可燃物		B 不燃物		C 難燃物		D 伐採木		② 状態		③ 履歴		01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—				01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—			
A 可燃物		B 不燃物		C 難燃物		D 伐採木		② 状態		③ 履歴																																																																																																									
01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																																																																																										
06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																																																																																										
01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																																																																																										
06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																																																																																										
11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—																																																																																																										
01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																																																																																										
01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																																										
A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																																			
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。																																																																																																																			

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0008

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	1F フランジタンク除染・保管委託							
	発生場所	大型機器点検建屋					2019/12/4	2019/12/4	2019/12/4
	作業主管G	廃棄物計画グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/11/28	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-67	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	不燃物その他	B 10	D A	7 m ³	0.002 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	17 mSv/h
2	紙・ウエス類	A 01	D A	2 m ³	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.5 mSv/h	
3	木材類	A 03	D A	2 m ³	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.5 mSv/h	
4				m ³					
5				m ³					
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0249
				2019/12/4
調整後保管日時		2019年12月24日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他	5 μSv/h	20 μSv/h	500 μSv/h	エリアW1	2019/12/24 10:40	4.5 m ³		ZK-02717	1
	2	1	紙・ウエス類	5 μSv/h	10 μSv/h	90 μSv/h	エリアW1	2019/12/24 10:40	1 m ³		ZK-02716	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ ZK-02717表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=10 μSv/h, β + γ 線量率=10 μSv/h ZK-02716表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=7 μSv/h, β + γ 線量率=7 μSv/h												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0008

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	11:00	承認	審査	作成	
	作業件名	1F フランジタンク除染・保管委託							
	発生場所	大型機器点検建屋					2019/12/4	2019/12/4	2019/12/4
	作業主管G	廃棄物計画グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/11/28	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-67	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	紙・ウエス類	A	01	D	A	2 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0250
				2019/12/4
調整後保管日時		2019年12月24日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 11:00	0.4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0016

作業主管理	保管希望日時	2019年12月23日		(月)	8:00	承認	審査	作成	
	作業件名	共用ボイラー建屋解体							
	発生場所	1F構内					2019/12/20	2019/12/20	2019/12/20
	作業主管G	設備電源グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
線量測定	線量測定年月日	2019/11/26	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-61
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β ・ γ 線量率
	1	B	03	D	A	10 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有 0.1 mSv/h
	2					m ²			
	3					m ²			
入 欄	4					m ²			
	5					m ²			
	注: α 有、 β ・ α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0254
				2019/12/20
調整後保管日時		2019年12月23日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β ・ γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
				5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h							
1	1	6m3コンテナ(NS-00460)	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/23 8:05	6 m ³		NS-00460	1			
1	2	6m3コンテナ(NS-00437)	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/23 8:05	6 m ³		NS-00437	1			
									m ³						
									m ³						
									m ³						

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記物品は6m3コンテナ2基に分けて収納。

※カテゴリ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C 難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β ・ γ 線量率欄に「 β ・ γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β ・ γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012914 - 0018

保 管 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月25日	(水)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	共用D/G(A)計器(弁)点検(2019)								
	発生場所	免震棟集中監視室			2019/12/4	2019/12/4	2019/12/4			
	作業主管G	冷却・監視設備計装グループ	監理員		TEL					
	元請会社	東京電力HD株式会社	担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/11/7	測定者		測定器名	シンチレーションサーベイメータ	管理番号			
							11-SC-175			
メ モ	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③					
	1	UPS/バッテリー	B	10	D	A	0.3 m	0.1 μ Sv/h	0.1 μ Sv/h	無
	2	段ボール類	A	01	D	A	0.05 m	0.1 μ Sv/h	0.1 μ Sv/h	無
	3						m			
	4						m			
	5						m			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0256
				2019/12/5
調整後保管日時		2019年12月25日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2		ICW	F1-ICW-393	
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	UPS/バッテリー ⑥	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/12/25 10:40	0.3 m			1
	2	1	段ボール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 11:00	0.05 m			2
									m			
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月24日	(火)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	G4南エリア			2019/12/5	2019/12/5	2019/12/5		
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL				
	元請会社			担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/12/3	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-87	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	ポリウレタ(金属付)	B	10	D	B	5 m	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
2						m			
3						m			
4						m			
5						m			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0262
				2019/12/5
調整後保管日時		2019年12月24日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ポリウレタ(金属付) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/24 8:30	6 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	8:30		承認	審査	作成
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	G4南エリア						2019/12/5	2019/12/5
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員		TEL	
	元請会社					担当者		TEL	
	線量測定年月日	2019/12/3	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-B7	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	ポリウレタ(金属付)	B	10	D	B	5 m	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h
2						m			
3						m			
4						m			
5						m			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0263
				2019/12/5
調整後保管日時		2019年12月24日		
		8:30		
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ポリウレタ(金属付)②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/24 9:40	5 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア				2019/12/5	2019/12/5	2019/12/5		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/12/3	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-87		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β - α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	ポリウレタ(金属付)	B	10	D	B	5 m	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
2						m				
3						m				
4						m				
5						m				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0264
				2019/12/5
調整後保管日時		2019年12月24日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ポリウレタ(金属付)②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/12/24 10:20	4 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0044

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-4 T/Bダスト対策工事								
	発生場所	プロセス主建屋廻りヤード					2019/12/5	2019/12/5	2019/12/5	
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/11/22	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-127		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	6m3コンテナ(2019ZK-02424)			B 01 D A	8 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.05 mSv/h
2	6m3コンテナ(2019ZK-02701)			B 01 D A	8 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.05 mSv/h	
3					m ³					
4					m ³					
5					m ³					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0265
				2019/12/5
調整後保管日時		2019年12月25日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02424)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/25 8:50	6 m ³		ZK-02424	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02701)	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2019/12/25 8:50	6 m ³		ZK-02701	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
				01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		C	難燃物	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0053

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F HTI建屋滞留残水排水設備設置検討委託								
	発生場所	プレス主建屋廻りヤード					2019/12/5	2019/12/5	2019/12/5	
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/11/22	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-127		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	6m3コンテナ(2019ZK-02729)	B	02	D	A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.2 mSv/h	β 有	2 mSv/h
2	6m3コンテナ(2019ZK-02732)	A	02	D	A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.05 mSv/h
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

受 付 番 号			
廃2019	—	12	— 0266
			2019/12/5
調整後保管日時		2019年12月25日	
		10:30	
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2019年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02729)	5 μ Sv/h	30 μ Sv/h	30 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/25 9:55	6 m ³		ZK-02729	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02732)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/25 9:55	6 m ³		ZK-02732	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0033

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~4号機 タンクエリア水回収設備他点検修理工事								
	発生場所	B,C排水路					2019/12/5	2019/12/5	2019/12/5	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/12/2	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-123	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ	B	01	D	A	1 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0268
				2019/12/6
調整後保管日時		2019年12月24日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/24 8:35	1 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0232

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0271
				2019/12/6
調整後保管日時		2019年12月25日		8:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	海水配管トレンチ除去工事								
	発生場所	2号機タービン建屋東側						2019/12/5	2019/12/5	
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/11/7	測定者		測定器名	ICW、ICWBL	管理番号	ICW-181ICWBL-104		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	不燃物(金属ガラ類)	B	01	D	A	5 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

線量測定内容			
測定日	2019年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ類①	5 μ Sv/h	50 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/25 8:00	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有			③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0232

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	海水配管トレンチ除去工事							
	発生場所	2号機タービン建屋東側					2019/12/5	2019/12/5	2019/12/5
	作業主管G	処理設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/11/7	測定者		測定器名	ICW、ICWBL	管理番号	ICW-181ICWBL-104	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	不燃物(金属ガラ類)	B	01	D	A	5 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2						m			
3						m			
4						m			
5						m			
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0272
				2019/12/6
調整後保管日時		2019年12月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ類①	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/25 10:15	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0053

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月24日 (火)		9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F HTI建屋滞留残水排水設備設置検討委託								
	発生場所	4号機タービン建屋他			2019/12/6	2019/12/6	2019/12/6			
	作業主管G	地下水対策グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/12/6	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-130			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	プラスチック・ポリ・ビニール類(2019SS-00029)	A	02	D	A	6 m	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.6 mSv/h
2	プラスチック・ポリ・ビニール類(2019SS-00033)	A	02	D	A	6 m	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.6 mSv/h
3						m				
4						m				
5						m				
No. 1,2は借用6m3コンテナにて廃棄、本票でコンテナ2台分の申請とする。外面 No1-0.05mSv/h No2-0.05mSv/h										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0273
				2019/12/6
調整後保管日時		2019年12月24日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	6m3コンテナ(SS-00029)	5 μ Sv/h	40 μ Sv/h	40 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/24 8:50	6 m		SS-00029	1	
2	1	6m3コンテナ(SS-00033)	5 μ Sv/h	30 μ Sv/h	30 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/24 8:50	6 m		SS-00033	1	
								m				
								m				
								m				
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013705 - 0053		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月26日		(木)	9:30		承認	審査	作成			
	作業件名	1F HTI建屋滞留残水排水設備設置検討委託										
	発生場所	4号機タービン建屋他						2019/12/6	2019/12/6	2019/12/6		
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/12/6	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-130		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	金属ガラ(2019SS-00034)		B	01	D	A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β有	1 mSv/h
	2	金属ガラ(2019SS-00035)		B	01	D	A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β有	2 mSv/h
	3							m ³				
4							m ³					
5							m ³					
No. 1,2は借用6m3コンテナにて廃棄、本票でコンテナ2台分の申請とする。外面 No1-0.05mSv/h No2-0.03mSv/h												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0274
				2019/12/6
調整後保管日時		2019年12月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	6m3コンテナ(SS-00034)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/26 8:55	6 m ³			SS-00034	1
2	1	6m3コンテナ(SS-00035)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/26 8:55	6 m ³			SS-00035	1
								m ³				
								m ³				
								m ³				
								m ³				

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	10	不燃物その他
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—		
		01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
C	難燃物	01	伐採木	02	伐採木(幹・根)	03	—	04	—	05	—		
		01	伐採木(枝・葉)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8012911 - 0018

作業 主 管 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年12月24日		(火)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	G1エリア配電線他設置								
	発生場所	Cタンクエリア						2019/12/6	2019/12/6	2019/12/6
	作業主管G	設備電源グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/12/6	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-34		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	難燃物(エフレックス)	C	04	D	A	5 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0275
				2019/12/9
調整後保管日時		2019年12月24日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-126
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	エフレックス(→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/24 11:00	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	状 態	履歴				
				A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0018

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月26日		(木)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	G1エリア配電線他設置								
	発生場所	Cタンクエリア						2019/12/6	2019/12/6	
	作業主管G	設備電源グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/10/31	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-34		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	分電盤	B	03	D	A	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0276
				2019/12/9
調整後保管日時		2019年12月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	分電盤②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/26 11:10	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	③	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月25日	(水)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2019/12/6	2019/12/6	2019/12/6			
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/11/20	測定者		測定器名	リ-ICW	管理番号	144		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	缶	B	01	D	A	2 m ³	4 μSv/h	4 μSv/h	無	
2	わりばし	A	03	D	A	2 m ³	4 μSv/h	4 μSv/h	無	
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。持ち込み分。12月中に処理希望。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0277
				2019/12/9
調整後保管日時		2019年12月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2		ICW	F1-ICW-393	
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	缶①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/12/25 9:30	2 m ³			1
	2	1	わりばし	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 9:30	2 m ³			2
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012201 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0278
				2019/12/9
調整後保管日時		2019年12月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	大型テレビ除却に伴う貯蔵品の廃棄								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 免震重要棟1階					2019/12/6	2019/12/6	2019/12/6	
	作業主管G	総務グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/12/5	測定者		測定器名	F1-SC	管理番号	099		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β ・ γ 線量率	
	1	保管物名	①	②	③					
	2	プラズマテレビ(大型)	B	10	D	A	1 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
メモ	注: α 有、 β ・ α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。持ち込み分。12月中に処理希望。									

線量測定内容				
測定日	2019年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラズマテレビ(大型)②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/25 9:35	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	状態	D:乾燥, W:湿気有		履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β ・ γ 線量率欄に「 β ・ γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β ・ γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6012319 - 0005												
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2019年12月26日		(木)		10:30		承認		審査		作成											
	作業件名		化学分析及び放射能測定業務																					
	発生場所		環境管理棟(GQ-27)						2019/12/6		2019/12/6		2019/12/6											
	作業主管G		分析評価グループ				監理員		TEL															
	元請会社						担当者		TEL															
	線量測定年月日		2019/12/2		測定者				測定器名		β・γ電離箱		管理番号 F1-ICWBL-135											
	No.		保管物名				※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の 有無		β+γ 線量率							
	1		不燃物その他				B 10 D A		5 m³		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無									
	2								m³															
	3								m³															
4								m³																
5								m³																
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																								
保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用 減容可		コンテナNo.		測定No.	
	1		1		不燃物その他②		5 μSv/h		5 μSv/h				エリアP1(屋外)		2019/12/26 10:40		2 m³						1	
																	m³							
																	m³							
																	m³							
																	m³							
																	m³							
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																							
	メ																							
	モ																							
※カ テ ゴ リ	①		A 可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —											
					06 —		07 —		08 —		09 —		10 —											
			B 不燃物		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類											
					06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他											
					11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 石綿含有物(はつり屑等)		14 —		15 —											
			C 難燃物		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —											
					01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —											
			D 伐採木																					
			② 状 態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」															
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																								
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																								
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																								
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。																								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012319 - 0005

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月26日	(木)	10:30	承認	審査	作成
	作業件名	化学分析及び放射能測定業務					
	発生場所	環境管理棟(GQ-27)			2019/12/6	2019/12/6	2019/12/6
	作業主管G	分析評価グループ			監理員	TEL	
	元請会社				担当者	TEL	
	線量測定年月日	2019/12/2	測定者		測定器名	β・γ電離箱	管理番号
							F1-ICWBL-135
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
							β・α 汚染の 有無
							β+γ 線量率
	1	金属ガラ	B 01	D A	1 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h
	2	機器類・制御盤類	B 03	D A	3 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h
	3	塩化ビニール類	B 05	D A	1 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h
	4				m ³		
	5				m ³		
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0280
				2019/12/9
調整後保管日時		2019年12月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2		ICWBL	F1-ICWBL-126
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/26 10:50	1 m ³			1
	2	1	機器類・制御盤類②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/26 10:50	2 m ³			1
	3	1	塩化ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/28 10:45	0.01 m ³			2
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0026

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0281
				2019/12/9
調整後保管日時		2019年12月25日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	Eエリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/12/5	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-95		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	1	金属ゴミ	B	01	D	A	4 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ゴミ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/25 8:25	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0026

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	12	—	0282
				2019/12/9
調整後保管日時		2019年12月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	Eエリア							2019/12/9	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2019/12/5	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-95	
	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β ・ γ 線量率	
	1	金属ゴミ	B	01	D	A	4 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
注: α 有、 β ・ α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

線量測定内容			
測定日	2019年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ゴミ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/12/25 9:45	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β ・ γ 線量率欄に「 β ・ γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β ・ γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0008

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月26日		(木)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	蒸発濃縮装置撤去(仮称)								
	発生場所	Cエリア						2019/12/9	2019/12/9	
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/11/28	測定者		測定器名	F1-ICW-331	管理番号	F1-ICWBL-34		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	紙・ウェス	A	01	D	B	0.3 m ²	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m ²	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.04 mSv/h
3	可燃物その他	A	04	D	B	0.5 m ²	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.04 mSv/h
4	金属ガラ	B	01	D	B	1 m ²	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.04 mSv/h
5	難燃物その他	C	04	D	B	0.1 m ²	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.04 mSv/h

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0283
				2019/12/9
調整後保管日時		2019年12月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1		紙・ウェス	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/26 10:05	0.2 m ²		ZK-02716	1
2	1		プラスチック・ポリ・ビニール類	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/26 10:05	0.2 m ²		ZK-02716	1
3	1		可燃物その他	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/26 10:05	0.5 m ²		ZK-02716	1
4	1		金属ガラ	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/26 10:05	1 m ²		ZK-02717	1
4	2		金属ガラ	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/26 10:05	0.5 m ²		SS-00191	1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ BG=7 μ Sv/h, ZK-02716: γ =7 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ =7 μ Sv/h, ZK-02717: γ =10 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ =10 μ Sv/h
 モ SS-00191: γ =7 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ =7 μ Sv/h

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
			①	②	③										
	6	不燃物その他	B	10	D	B	0.1	m ³	0.005	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.04	mSv/h
	7	難燃シート類	C	02	D	B	0.5	m ³	0.005	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.04	mSv/h
	8	塩化ビニール類	B	05	D	B	0.3	m ³	0.005	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.04	mSv/h
	9	ゴム類	C	01	D	B	0.3	m ³	0.005	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.04	mSv/h
	10						m ³								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	12	—	0283

No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
7	1	難燃シート類	5	$\mu\text{Sv/h}$	10	$\mu\text{Sv/h}$	20	$\mu\text{Sv/h}$	エリアW1	2019/12/26 10:05	1	m ³		ZK-02716	1
8	1	塩化ビニール類	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$	15	$\mu\text{Sv/h}$	エリアW1	2019/12/26 10:05	0.3	m ³		ZK-02716	1
9	1	ゴム類	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$	15	$\mu\text{Sv/h}$	エリアW1	2019/12/26 10:05	0.3	m ³		ZK-02716	1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013706 - 0046

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	12	—	0285
				2019/12/10
調整後保管日時		2019年12月25日		9:00
【保管時の指示事項等】				

作業主管理記入欄	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	1～4号機 油処理装置点検手入工事(H31)							
	発生場所	1F4号機R/B					2019/12/9	2019/12/9	2019/12/9
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/12/4	測定者		測定器名	ICS-1323	管理番号	—	
	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	
		①	②	③				β+γ 線量率	
	1	ケーブル類	B 08	D	B	1.5 m	0.05 mSv/h	0.08 mSv/h	無
	2	防災シート	B 10	D	B	2.5 m	0.05 mSv/h	0.06 mSv/h	無
3	足場パイプ・足場板	B 01	D	B	1 m	0.05 mSv/h	0.06 mSv/h	無	
4					m				
5					m				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

線量測定内容			
測定日	2019年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-376
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル類①	5 μSv/h	30 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/25 9:20	1 m			1
	2	1	防災シート②	5 μSv/h	50 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/25 9:20	2 m			1
	3	1	足場パイプ・足場板①	5 μSv/h	20 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/25 9:20	1 m			1
									m			
									m			
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0041

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月26日		(木)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	T/B油処理装置設置(電気工事)								
	発生場所	Cタンクエリア					2019/12/9	2019/12/9	2019/12/9	
	作業主管G	設備電源グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/10/31	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-34		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	ケーブル	B	08	D	A	5 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2						m				
3						m				
4						m				
5						m				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0286
				2019/12/10
調整後保管日時		2019年12月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/26 9:40	4 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月25日	(水)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア			2019/12/10	2019/12/9	2019/12/9			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/12/5	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-90		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	可燃物その他	A	04	D	B	5 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
木材は、4tダンプトラック使用										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0287
				2019/12/10
調整後保管日時		2019年12月25日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 8:00	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0289
				2019/12/10
調整後保管日時		2019年12月25日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	8:30	承認	審査	作成	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	G4南エリア						2019/12/10 2019/12/9 2019/12/9	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/12/5	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-90	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	可燃物その他	A 04	D B	5 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2				m ³				
	3				m ³				
4				m ³					
5				m ³					

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 8:30	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0290
				2019/12/10
調整後保管日時		2019年12月25日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/12/5	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-90		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	プラスチック、ポリビニール	A	02	D	B	5 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック、ポリビニール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 9:00	6.6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月25日	(水)	10:00	承認	審査	作成							
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事												
	発生場所	G4南エリア			2019/12/10	2019/12/9	2019/12/9							
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL								
	元請会社				担当者	TEL								
	線量測定年月日	2019/12/5	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-90							
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率					
		①	②	③										
		1	可燃物その他	A 04						D B	5 m	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
		2									m			
		3									m			
		4									m			
5				m										

受 付 番 号			
廃2019	—	12	— 0291
調整後保管日時			2019年12月25日 10:00
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2019年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/25 10:00	4.3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0006

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月25日		(水)	8:30	承認	審査	作成	
	作業件名	3号機R/B防水性向上対策工事							
	発生場所	4号機T/B(GI-25)					2019/12/10	2019/12/10	2019/12/9
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/12/7	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-97	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	不燃物その他	B	10	D	A	5 m	0.01 mSv/h	0.07 mSv/h	無
2						m			
3						m			
4						m			
5						m			
メモ	防災シートになります。廃棄は自社にて廃棄場所まで搬送、廃棄とします。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0292
				2019/12/10
調整後保管日時		2019年12月25日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他②	5 μ Sv/h	30 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/25 8:35	4 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010303 - 0042

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年12月26日		(木)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1-4号機出入管理所用設備防護システム機器(1次リース)賃貸借								
	発生場所	1-2号機開閉所、汐見坂付近 GK-19、22					2019/12/10	2019/12/9	2019/12/9	
	作業主管G	防護管理グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/12/5	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-120		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	アスファルトガラ	B	09	D	B	5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0295
				2019/12/10
調整後保管日時		2019年12月26日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-376
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ⑪	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/12/26 8:00	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ欄												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。